

佐賀県の地震活動概況 (2018年10月)

平成30年11月9日
佐賀地方気象台

【10月の地震活動概況】

10月に佐賀県内で震度1以上を観測した地震は1回(下図領域外)でした(9月は1回)。

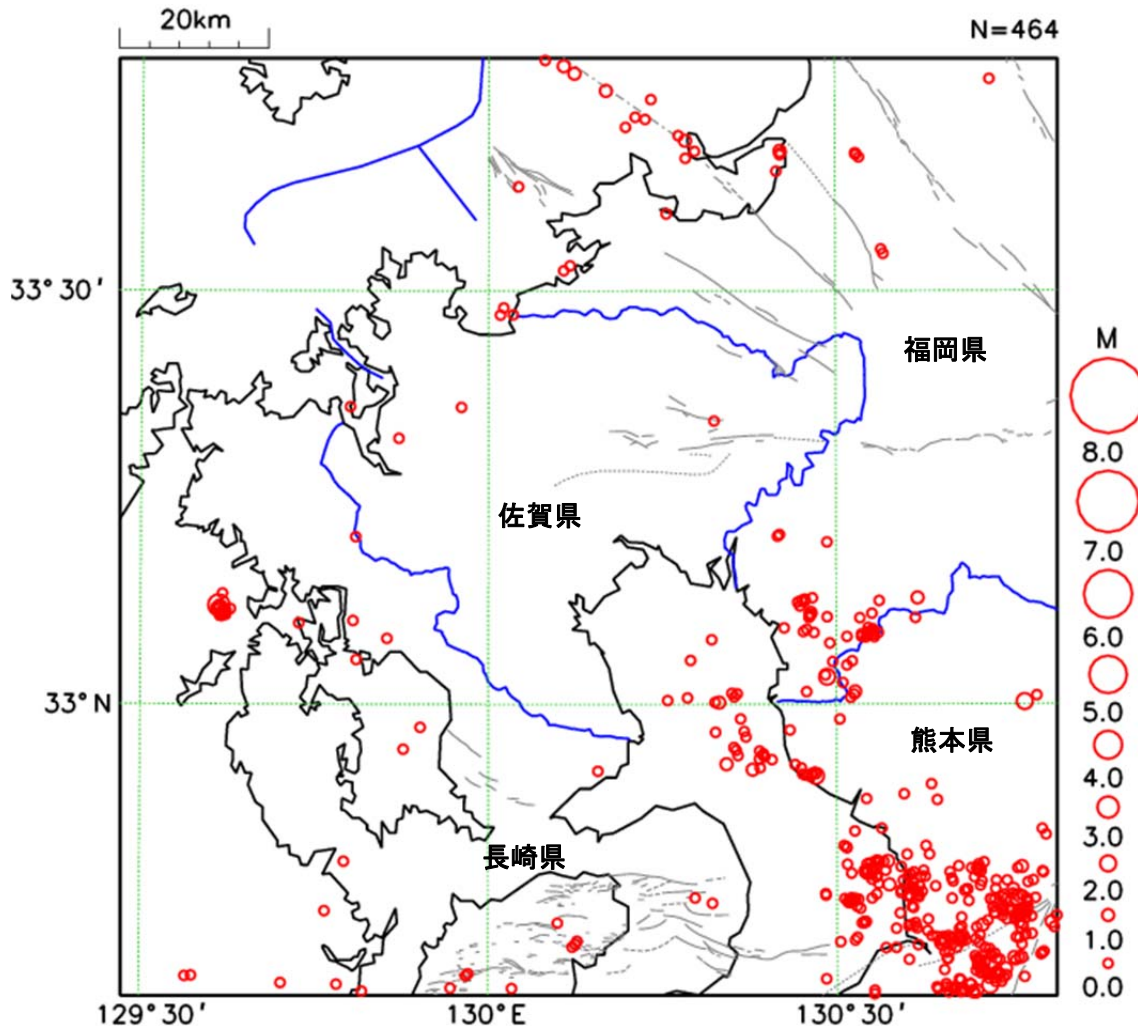


図1 震央分布図 (2018年10月1日~31日、深さ30km以浅)
灰色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

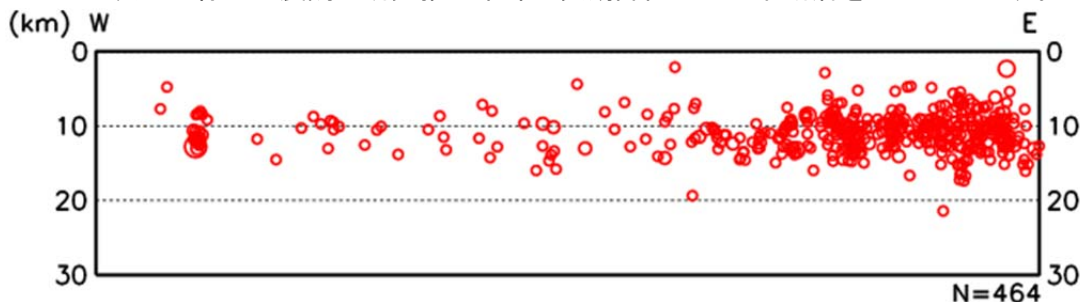


図2 断面図 (2018年10月1日~31日、深さ30km以浅)
震央分布図を南の方から見た断面図です。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

15日 熊本県熊本地方の地震

15日09時12分に熊本県熊本地方でM4.1の地震（深さ11km）が発生し、熊本県の熊本市、八代市、宇城市などで震度3を観測したほか、熊本県を中心に九州地方で震度2～1を観測しました。佐賀県では、佐賀市、唐津市、嬉野市などで震度1を観測しました（図3）。

今回の地震の震源付近（図4領域a）では、「平成28年（2016年）熊本地震」の一連の地震活動が全体として引き続き減衰しつつも継続しており、現状程度の地震活動は当分の間続くと考えられます（図4、図5）。

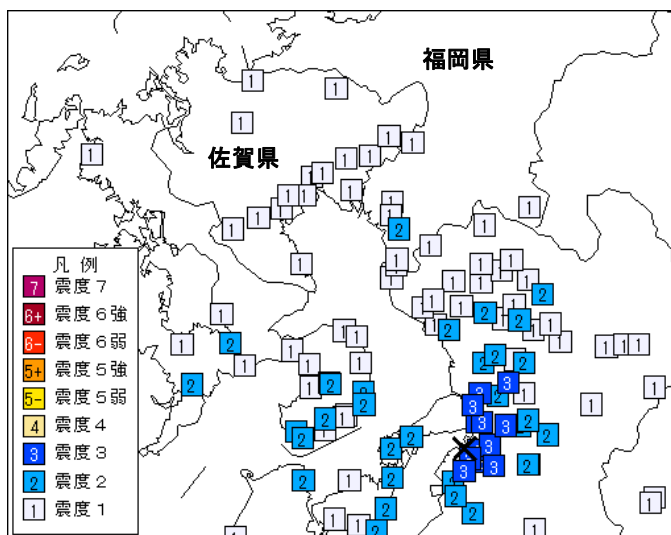


図3 震度分布図 15日09時12分 M4.1
(×は震央、観測点別)

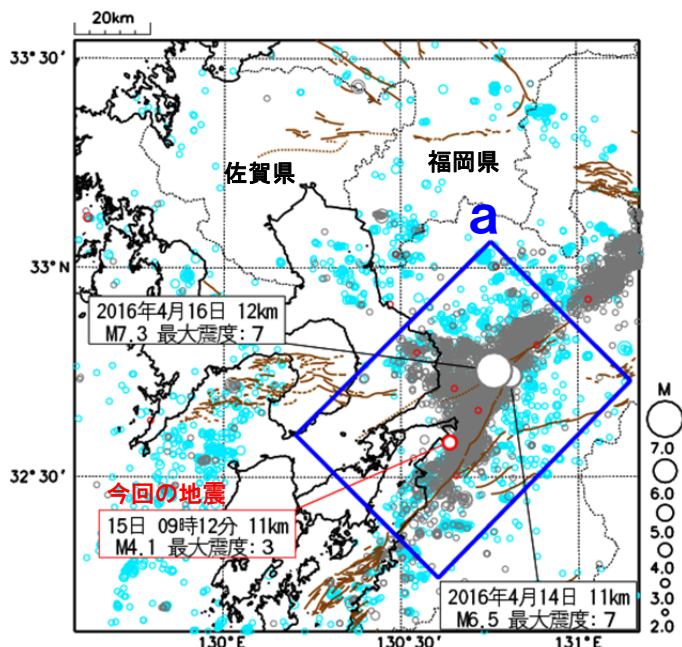


図4 震央分布図
(1997年10月1日～2018年10月31日、
深さ0～30km M≥2.0)

※2018年10月1日以降の地震を赤色で表示
※図中の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

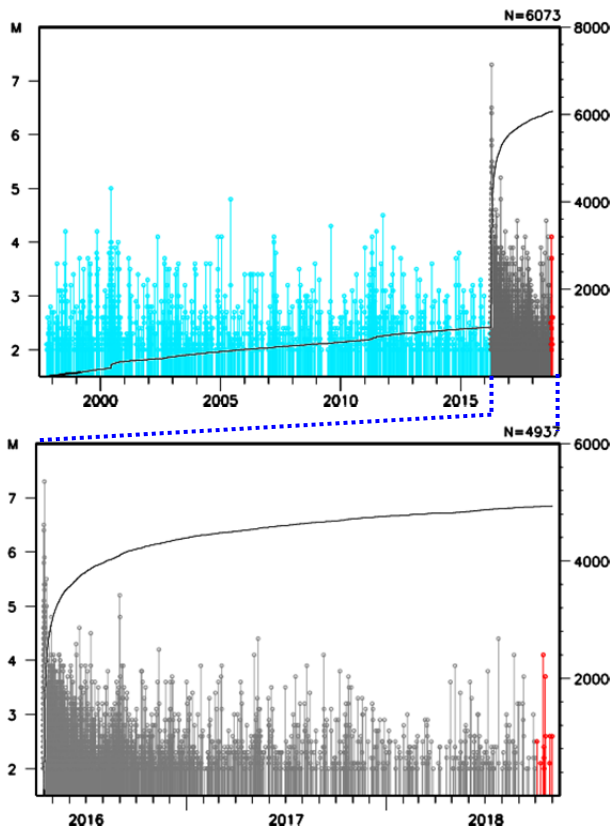


図5 図4領域aの地震活動経過図
および回数積算図

(上段：1997年10月1日～2018年10月31日、
下段：2016年4月14日～2018年10月31日)

表 1 佐賀県で震度 1 以上を観測した地震 (2018 年 10 月 1 日～31 日)

地震発生時刻	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
10 月 15 日 09 時 12 分 佐賀県	熊本県熊本地方	32° 34.9' N	130° 38.2' E	11km	M4.1
震度 1 :	唐津市浜玉*, 唐津市相知*, 佐賀市駅前中央, 佐賀市三瀬*, 佐賀市川副*, 佐賀市久保田*, 上峰町坊所*, 白石町福田*, 白石町福富*, 白石町有明*, 太良町多良, 小城市芦刈*, 嬉野市塩田*, 嬉野市下宿乙*, 神埼市千代田*				

- ・「*」の付いた地点は、佐賀県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
- ・地震の震源要素（緯度・経度・深さ・M）は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

地震の名称について

気象庁では、顕著な災害を起こした自然現象について名称を定めることとしています。名称を定めることにより、防災関係機関等による災害発生後の応急・復旧活動の円滑化を図るとともに、当該災害における経験や貴重な教訓を後世に伝承することを期待するものです。

これまでは「命名」としていましたが、今年（2018年）7月から「名称を定めること」と改めました。また、各地域で独自に定められた災害やそれをもたらした自然現象の名称についても、後世への伝承の観点から利用し、普及を図ることとしています。

地震については、以下の基準で名称を定めます。

(名称を定める基準)

1. 地震の規模が大きい場合

陸域：M7.0以上（深さ100km以浅）かつ最大震度5強以上

海域：M7.5以上（深さ100km以浅）であり、かつ最大震度5強以上または津波の高さ2m以上

2. 顕著な被害が発生した場合（全壊家屋100棟程度以上の家屋被害、相当の人的被害など）

3. 群発地震で被害が大きかった場合等

(名称の付け方)

原則として、「元号年＋地震情報に用いる地域名＋地震」とする。

ただし、次の点に留意する。

- ・定めた名称は、一連の地震活動全体を指すものとする。
- ・上の基準を満たす地震が複数発生した場合には、原則として一連の地震活動が始まった時点の元号年を用いる。

近年、気象庁が名称を定めた地震は下表のとおりです。最近では、2018年9月6日から始まる北海道胆振地方中東部を中心とした一連の地震活動について、「平成30年北海道胆振東部地震」と名称を定めました。

(近年に気象庁が名称を定めた地震)

名 称	一連の地震活動が始まった日	主な被害 (被害は総務省消防庁による)
平成16年(2004年)新潟県中越地震	2004年10月23日	死者68人
平成19年(2007年)能登半島地震	2007年3月25日	死者1人
平成19年(2007年)新潟県中越沖地震	2007年7月16日	死者15人
平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震	2008年6月14日	死者17人、行方不明6人
平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震	2011年3月11日	死者19,667人、行方不明2,566人 <small>平成30年9月7日現在</small>
平成28年(2016年)熊本地震	2016年4月14日	死者272人 <small>平成30年10月15日現在</small>
平成30年北海道胆振東部地震	2018年9月6日	死者41人 <small>平成30年10月29日現在</small>

※ 気象庁が名称を定めたその他の地震については、気象庁HPをご覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/meishou/meishou_ichiran.html